

*2008年6月改訂（第2版 日局名称変更による）
1999年7月改訂

漢方製剤

三和 黄芩湯 エキス細粒

黄芩湯

S-35

日本標準商品分類番号	875200
承認番号	61AM 第3597
薬価収載	1986年10月
販売開始	1986年11月

貯法・取扱い上の注意

吸湿しやすいので、使用後は密栓し、直射日光を避け涼しいところに保管すること。

使用期限

ラベル又は外箱に表示。

本品は傷寒論に記載されている「黄芩湯」の水製エキスを細粒剤にした服用しやすい製剤である。

【禁忌】（次の患者には投与しないこと）

- (1) アルドステロン症の患者
- (2) ミオパシーのある患者
- (3) 低カリウム血症のある患者

〔(1)~(3)：これらの疾患及び症状が悪化するおそれがある。〕

【組成】

本品1日量（7.5g）中、下記の黄芩湯水製エキス4.0gを含有する。

日局	オウゴン	4.0g	日局	カンゾウ	3.0g
日局	タイソウ	4.0g	日局	シャクヤク	3.0g

*添加物として乳糖水和物、トウモロコシデンプン、結晶セルロース、部分アルファー化デンプン、軽質無水ケイ酸を含有する。

【性状】

本品は黄かっ色の細粒で、特異な芳香を有し、味は甘く、苦い。

【効能又は効果】

腸カタル、消化不良、嘔吐、下痢

【用法及び用量】

通常、成人1日7.5gを3回に分割し、食前又は食間に経口投与する。なお、年齢、症状により適宜増減する。

【使用上の注意】

1. 重要な基本的注意

- (1) 本剤の使用にあたっては、患者の証（体質・症状）を考慮して投与すること。なお、経過を十分に観察し、症状・所見の改善が認められない場合には、継続投与を避けること。
- (2) 本剤にはカンゾウが含まれているので、血清カリウム値や血圧値等に十分留意し、異常が認められた場合には投与を中止すること。
- (3) 他の漢方製剤等を併用する場合は、含有生薬の重複に注意すること。

2. 相互作用

併用注意（併用に注意すること）

薬剤名等	臨床症状・措置方法	機序・危険因子
(1) カンゾウ含有製剤	偽アルドステロン症があらわれやすくなる。	グリチルリチン酸及び利尿剤は尿細管でのカリウム排泄促進作用があるため、血清カリウム値の低下が促進されることが考えられる。
(2) グリチルリチン酸及びその塩類を含有する製剤	また、低カリウム血症の結果として、ミオパシーがあらわれやすくなる。〔「重大な副作用」の項参照〕	
(3) ループ系利尿剤 フロセミド エタクリン酸		
(4) チアジド系利尿剤 トリクロルメチアジド		

3. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していないため、発現頻度は不明である。

(1) 重大な副作用

- 1) 偽アルドステロン症：低カリウム血症、血圧上昇、ナトリウム・体液の貯留、浮腫、体重増加等の偽アルドステロン症があらわれることがあるので、観察（血清カリウム値の測定等）を十分に行い、異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。
- 2) ミオパシー：低カリウム血症の結果としてミオパシーがあらわれることがあるので、観察を十分に行い、脱力感、四肢痙攣・麻痺等の異常が認められた場合には投与を中止し、カリウム剤の投与等の適切な処置を行うこと。

4. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので減量する等注意すること。

5. 妊婦、産婦、授乳婦等への投与

妊娠中の投与に関する安全性は確立していないので、妊婦又は妊娠している可能性のある婦人には、治療上の有益性が危険性を上回ると判断される場合にのみ投与すること。

6. 小児等への投与

小児等に対する安全性は確立していない。〔使用経験が少ない〕

【包装】 500g、2.5g×300包



三和生薬株式会社
宇都宮市平出工業団地6番地1

FF